## 紫外可視分光光度計 UV-1280 水質測定システム

(株)島津製作所 製

- ●39項目の測定条件、検量線をプログラムに内蔵し、画面表示に従うだけで 簡単に水質分析を行なえます。
- ●試薬は主にパックテストを使用し、検水量はわずか1.5mL\*です。(※一部の項目を除く)
- ●UV-1280はモニターダブルビームUVで、高い定量精度·安定性のある分析ができます。
- ●UV-1280及び水質測定プログラムについては、株式会社 島津製作所に お問い合わせください。



	測定項目	試薬型式	測定範囲(mg/L)	測定時間	測定原理	備考(別途必要)
CIO	残留塩素(遊離)	WAK-CIO·DP	0.05 ~ 3.0	1分	DPD法	
CN	遊離シアン	WAK-CN-2	0.02 ~ 0.4	10分	4-ピリジンカルボン酸法	
CN <sup>T</sup>	全シアン	LR-CN <sup>™</sup>	0.1 ~ 3.0	[30分]	蒸留とピクリン酸法	全シアン検定器(p.35)
COD	COD	LR-COD-B-2	2.0 ~ 10.0	10分	アルカリ性過マンガン酸カリウム法	
Color	色度	_	50.0 ~ 1000	3秒	塩化白金酸コバルト標準液による	
Cr <sup>6+</sup>	6価クロム	LR-Cr <sup>6+</sup>	0.02 ~ 1.0	5分	ジフェニルカルバジド法	
Cr <sup>6+</sup> -50	6価クロム-50mmセル	LR-Cr <sup>6+</sup>	0.01 ~ 0.2	5分	ジフェニルカルバジド法	試料室ユニット、 角形長吸収セルホルダ
Cr <sup>6+</sup> (D)	6価クロム(低濃度)	DPR-Cr <sup>6+</sup> D	0.003 ~ 0.1	[10分]	ジフェニルカルバジド/ 膜濃縮法	7,77,77,7
Cr <sup>T</sup>	全クロム	LR-Cr <sup>⊤</sup>	0.02 ~ 1.0	[15分]	酸化とジフェニルカルバジド法	<b>^</b>
Cr <sup>6+</sup> (WAK)	6価クロム(パックテスト)	WAK-Cr <sup>6+</sup>	0.02 ~ 1.0	2分	ジフェニルカルバジド法	
Cu	銅	WAK-Cu	0.1 ~ 5.0	1分	バソクプロイン法	
F	ふっ素(遊離)	WAK-F	0.2 ~ 1.2	15分	ランタン-アリザリンコンプレキソン法	
Fe	鉄	WAK-Fe	0.1 ~8.0	3分	還元とo-フェナントロリン法	
Fe(D)	鉄(低濃度)	WAK-Fe(D)	0.05 ~ 2.0	3分	還元とバソフェナントロリン法	
FOR	ホルムアルデヒド	WAK-FOR	0.2 ~ 0.8	5分	MBTH法	
H <sub>2</sub> O <sub>2</sub>	過酸化水素	WAK-H <sub>2</sub> O <sub>2</sub>	0.05 ~ 3.0	2分	酵素を用いた4-アミノアンチピリン法	
Mn	マンガン	WAK-Mn	0.5 ~ 20.0	3分	過よう素酸カリウム法	
NH4	アンモニウム	WAK-NH4-4	0.2 ~ 5.0	10分	インドフェノール青法	
NH4-N	アンモニウム態窒素	WAK-NH4-4	0.16 ~ 4.0	10分	インドフェノール青法	
Ni	ニッケル	WAK-Ni(D)	0.5 ~ 10.0	5分	ニオキシム法	•
NO <sub>2</sub>	亜硝酸	LR-NO2	0.02 ~ 0.6	5分	ナフチルエチレンジアミン法	
NO2-N	亜硝酸態窒素	LR-NO2	0.006 ~ 0.18	5分	ナフチルエチレンジアミン法	
NO <sub>3</sub> (1)	硝酸(NO2 =0)	LR-NO3	0.2 ~ 5.0	5分	還元とナフチルエチレンジアミン法	•
NO <sub>3</sub> (2)	硝酸(NO₂ ≦0.05mg/L)	LR-NO₃	0.2 ~ 3.0	[10分]	還元とナフチルエチレンジアミン法	■ LR-NO <sub>2</sub>
NO <sub>3</sub> (3)	硝酸(NO₂≦5mg/L)	LR-NO₃	0.2 ~ 5.0	[10分]	還元とナフチルエチレンジアミン法	■▲ NO <sub>3</sub> -RA(p.10)
NO <sub>3</sub> -N(1)	硝酸態窒素(NO2-N =0)	LR-NO₃	0.045 ~ 1.13	5分	還元とナフチルエチレンジアミン法	•
NO <sub>3</sub> -N(2)	硝酸態窒素(NO2-N≦0.015mg/L)	LR-NO₃	$0.045 \sim 0.68$	[10分]	還元とナフチルエチレンジアミン法	■ LR-NO <sub>2</sub>
NO <sub>3</sub> -N(3)	硝酸態窒素(NO2-N≦1.5mg/L)	LR-NO₃	0.045 ~ 1.13	[10分]	還元とナフチルエチレンジアミン法	■▲ NO <sub>3</sub> -RA(p.10)
Pb	鉛	SPK-Pb	0.05 ~ 0.5	[12分]	MetaSEP AnaLig <sup>®</sup> とPAR法	
Phenol	フェノール	WAK-PNL	0.5 ~ 5.0	8分	酵素を用いた4-アミノアンチピリン法	
PO <sub>4</sub>	りん酸	WAK-PO <sub>4</sub>	0.1 ~ 5.0	3分	モリブデン青法	
PO <sub>4</sub> (D)	りん酸(酵素法)	WAK-PO <sub>4</sub> (D)	0.1 ~ 3.0	5分	酵素を用いた4-アミノアンチピリン法	•
PO <sub>4</sub> -P	りん酸態りん	WAK-PO4	0.04 ~ 1.5	3分	モリブデン青法	
PO <sub>4</sub> -P(D)	りん酸態りん(酵素法)	WAK-PO <sub>4</sub> (D)	0.04 ~ 1.0	5分	酵素を用いた4-アミノアンチピリン法	
S	硫化物(硫化水素)	WAK-S	0.05 ~ 0.8	3分	メチレンブルー変法	
TH	全硬度	WAK-TH	10.0 ~ 100.0	3分	フタレインコンプレクソン法	
Turbid (FTU)	濁度(ホルマジン)	_	20.0 ~ 400	3秒	ホルマジン標準液による	
Turbid(PS)	濁度(ポリスチレン)	_	10.0 ~ 100	3秒	ポリスチレン標準液による	
Zn(D)	亜鉛(低濃度)	WAK-Zn(D)	0.03 ~ 0.4	6分	5-Br-PAPS法	
測定時間・「 」は前処理場件を含んだ。おおよるの今が更時間です。 ■・・・東田カップ(5.6) ▲・・・加熱目 ■・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						